

「junii2ガイドライン バージョン 3.1」改訂対照表

修正・追記箇所は赤字で表記。

項目	修正箇所	改訂前(バージョン3.0 平成25年7月版)	改訂後(バージョン3.1)	備考
はじめに	-	国立情報学研究所(NII)では、機関リポジリのメタデータについて、NIIのサービス基盤を効果的に使っていただくにあたっての課題解決を目標として、平成21年7月に学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会の下に設置されたWG2(IRシステム検討WG)において、メタデータのjunii2 バージョン1の各データ要素の説明と使用例を提示した「junii2ガイドライン」を作成した。また、学位規則の改正(平成25年4月1日施行)対応等のため策定したjunii2 バージョン3.0に即し、ガイドラインを一部改訂した。JAIRO、JAIRO Cloud、CiNii等、NIIのサービス基盤を効果的に使用したい場合、また、学位規則改正に伴い、機関リポジリに登録された博士論文全文を国立国会図書館が自動収集することに対応する場合は、本ガイドラインに準拠することを推奨する。 なお、平成25年7月には共同大学院等の対応のため、ガイドラインの一部改訂を行った。	国立情報学研究所(NII)では、機関リポジリのメタデータについて、NIIのサービス基盤を効果的に使っていただくにあたっての課題解決を目標として、平成21年7月に学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会の下に設置されたWG2(IRシステム検討WG)において、メタデータのjunii2 バージョン1の各データ要素の説明と使用例を提示した「junii2ガイドライン」を作成した。 junii2が学位規則の改正(平成25年4月1日施行)対応等を行ったバージョン3.0、学位授与番号の実運用に合わせたjunii2バージョン3.1に改訂されたことを受け、それに即しガイドラインも改訂している。 JAIRO、JAIRO Cloud、CiNii等、NIIのサービス基盤を効果的に使用したい場合、また、学位規則改正に伴い、機関リポジリに登録された博士論文全文を国立国会図書館が自動収集することに対応する場合は、本ガイドラインに準拠することを推奨する。	ガイドライン改訂履歴について、修正を行った
	-	※ 改訂履歴 ・平成22年3月 作成 バージョン1.0 ・平成25年3月 改訂 バージョン3.0	※ 改訂履歴 ・平成22年3月 作成 バージョン1.0 ・平成25年3月 改訂 バージョン3.0 ・平成26年3月 改訂 バージョン3.1	バージョン3.1を追加
	-	国内の多くの機関リポジリがjunii2でのハーベストに対応しており、NIIでは平成25年2月末現在、259機関からjunii2フォーマットでメタデータをハーベストし、以下のサービスを提供している。	国内の多くの機関リポジリがjunii2でのハーベストに対応しており、NIIでは 平成26年2月末現在、333機関 からjunii2フォーマットでメタデータをハーベストし、以下のサービスを提供している。	最近の数値に訂正
61. 学位授与番号	スキーム	科研費機関番号(数字5桁)[甲>A 乙>B 他>Z]報告番号 ※科研費機関番号 https://www-kakenjpsps.go.jp/kaken1/kikanList.do	科研費機関番号(5桁)+[甲 乙 *]+第*+報告番号+号の形式で記述する。*は0字以上の任意の文字列、+は文字列の連結を示す。科研費機関番号及び報告番号は半角数値とする。 ※科研費機関番号 https://www-kakenjpsps.go.jp/kaken1/kikanList.do	改訂版のフォーマットに変更
	推奨例	<grantid>10100A123456</grantid> 指定の書式で記入。	<grantid>10100 甲 第123456号</grantid> <grantid>20223 乙 第理学2345号</grantid> <grantid>31234 甲 理工第4452号</grantid> <grantid>45313 第 331号</grantid> 指定の書式で記入。	改訂版のフォーマットの例に変更

※上記改訂に合わせ、ガイドラインの目次も修正する。